

わさお

公共施設ガイド

【平成31年4月版】



《 目 次 》

◇ 総合庁舎	・・・ P 1
◇ 保健福祉センター	・・・ P 2
◇ 町立病院	・・・ P 3
◇ 芳生苑 健楽苑	・・・ P 4
◇ ひだまり	・・・ P 5
◇ エココテージ	・・・ P 6
◇ ふれあいのもり	・・・ P 7
◇ 三笠山自然公園・恵水観音像と恵水碑	・・・ P 8
◇ 南丘森林公園	・・・ P 9
◇ 夫婦岩・塩狩峠一目千本桜	・・・ P 10
◇ 塩狩峠記念館・長野政雄顕彰碑	・・・ P 11
◇ 和寒町農林業定住促進施設	・・・ P 12
◇ 農想塾	・・・ P 13
◇ 農産加工センター	・・・ P 14
◇ 米穀類乾燥調製貯蔵施設	・・・ P 15
◇ 木質バイオマス燃料製造施設・熱源供給施設	・・・ P 16
◇ 和寒町パーク供給センター・ふれ愛の里	・・・ P 17
◇ 保養センター	・・・ P 18
◇ 和寒町保育所	・・・ P 19
◇ こども館	・・・ P 20
◇ かたくり荘	・・・ P 21
◇ 恵み野ホール	・・・ P 22
◇ 郷土資料館	・・・ P 23
◇ 図書館	・・・ P 24
◇ 総合体育館・総合運動公園屋外体育施設	・・・ P 25
◇ 研修館楡・B & G海洋センター	・・・ P 26
◇ 片栗庵	・・・ P 27
◇ 北原交流展示館	・・・ P 28
◇ 東山スキー場	・・・ P 29
◇ 和寒小学校	・・・ P 30
◇ 和寒中学校	・・・ P 31
◇ 場・墓地（松岡・中和・東和・西和）	・・・ P 32
◇ リイクルセンター	・・・ P 33
◇ 一般廃棄物最終埋立処分場・生ごみ処理場	・・・ P 34
◇ 和寒・剣淵広域有害鳥獣焼却施設 和寒地区簡易水道事業（東丘浄水場・三和浄水場）	・・・ P 35
◇ 施設利用料一覧	・・・ P 36
◇ 施設位置図	・・・ P 42

総合庁舎

(所在地：和寒町字西町)



総合庁舎には、役場庁舎・町民センター・消防庁舎があります。町民センター4階には、誰もが自由に利用できる町民談話室の他、和室、茶室、会議室（小・中・大）等が、各種サークル活動等に利用されており、町民相互の連帯意識の高揚と生活文化の向上に寄与しています。

現在、役場庁舎1階には出納室・住民課・産業振興課・農業委員会・森林組合があり、2階には総務課・建設課、3階には議会事務局がそれぞれ業務を行っています。消防庁舎は士別地方消防事務組合消防署和寒支署があります。



左：消防署（白い建物）右：庁舎

施設概要	鉄筋コンクリート造	地上4階地下1階建
	建築延面積	3,884.8 m ²
来歴	昭和52年新築工事着手	昭和53年完成
	平成23年総合庁舎大規模改修工事・耐震工事着手	平成24年完成
利用時間	(町民センター)	午前8時30分～午後10時
利用料	「施設利用料一覧」参照 (P40)	

保健福祉センター

(所在地：和寒町字西町)



保健福祉センターは、保健・福祉向上のため医療機関と連携し、その中心的役割を担っていく施設として町立病院の北側に併設しています。子どもからお年寄りまで、各世代の健康づくりや介護、福祉のための各種事業を実施するとともに、総合相談と必要に応じて他の機関との連携を図った支援をしています。

保健福祉センターは、居宅介護支援事業所・地域包括支援センターの機能を有し、町保健福祉課が業務を担っています。

施設概要	鉄筋コンクリート造 2階建 建築面積 1,229.92 m ²
来歴	平成8年開設
事業内容	1. 福祉に関する事業（相談指導、生きがい、障がい福祉他） 2. 保健に関する業務（健康診査、各種検診、予防接種、健康相談指導、母子手帳交付 等） 3. 地域包括支援センター（総合相談、予防事業、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント） 4. 居宅介護支援事業所（介護サービス等の相談、ケアプランの作成、介護事業者との連絡調整） 5. 介護保険に関する業務（介護保険申請の受付・相談等、その他介護保険制度運営業務） 6. 訪問看護事業（土別地域サブステーション、在宅療養、生活支援）
利用料	「施設利用料一覧」参照（P41）

町立病院

(所在地：和寒町字西町)



地域住民に良質な医療を提供し、信頼される病院を目指すことを理念として、生命を守る医療と、病気の予防や早期発見のための各種検診を行う、地域の拠点病院です。

町立和寒病院の前身である村立病院は、近代的な医療施設の要望が高まる中、看護師宿舎の新築とあわせて病院の総改築工事を行い、現在の町立和寒病院として新たに開設しました。

完成当時の病床数は一般病床 38 床・結核病床 13 床としてスタートしましたが、その後の診療科目の変更に伴い、一般病床 38 床のみにすると同時期に改修増築工事を行い、検査機能と理学療法室の充実が図られました。

なお、平成 19 年 4 月からは一般病床数が 30 床に変更されています。平成 22 年度には、看護師宿舎の取壊し、土足対応のための床改修、救急患者受入専用玄関の増築、正面玄関を拡張し、車での外来患者や患者輸送の利便性を高めるなど、大規模な改修増築工事を実施しています。

現在は隣接する保健福祉センターと一体となり機能しています。

施設概要	鉄筋コンクリート造 2 階建
	面積 2,346.81 m ²
	病床数 30 床
	診療科目 内科・外科・小児科・麻酔科・リハビリテーション科
来歴	昭和 26 年 村立病院開設 昭和 49 年 総改築工事着手
	平成 6 年 一般病床 38 床に
	平成 8 年改修 (保健福祉センターと一体化)
	平成 19 年 一般病床 30 床に
	平成 22 年 緊急搬送用玄関増築、院内土足化のためのバリアフリー化
診察時間	午前 8 時 30 分～午後 0 時 15 分 午後 3 時～午後 5 時
	※午後からは入院患者の回診のため診察は午後 3 時頃から
受付時間	午前 8 時 15 分～午前 11 時 45 分 午後 1 時 15 分～午後 4 時 30 分
休診日	土曜・日曜・祝祭日・年末年始

特別養護老人ホーム 芳生苑

(所在地：和寒町字三笠)



常時介護が必要とされる高齢者が、ご自分の能力に応じ、できる限り自立した日常生活を送ることができるよう支援することを目的とした施設で、定員は100人となっています。

昭和51年の開設後、これまで施設内トイレ、浴室、食堂、居室などを改修し、利用者のより良い生活環境づくりを行ってきています。

また、在宅介護を支えるサービスとして、利用者の心身機能の維持と、家族の介護負担の軽減を図るものとして、個室のショートステイを5床整備しています。

施設概要	鉄筋コンクリート造平屋建	床面積	2,972.797 m ²
来歴	昭和51年 開設 (50床)	昭和55年	50床増床
	平成11年	ショートステイ	5床整備
	平成22年	スプリンクラー設置	平成24年 耐震診断
	平成27・28年	居室改修	平成29年 食堂エアコン等整備
	平成30年	特殊浴室改修	

デイサービスセンター 健楽苑

(所在地：和寒町字三笠)



在宅福祉の充実と高齢者や障がい者の自立支援の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上や、家族の介護負担軽減を図ることを目的として特別養護老人「芳生苑」に併設しています。デイサービスでは、日帰りで入浴や食事、健康維持や機能訓練などのサービスを行っています。

施設概要	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨) 平屋建	建築面積	836.8 m ²
来歴	平成6年 開設	定員 30人	平成27年 外壁等改修
	平成29年	食堂・訓練室エアコン等整備	

ひだまり

(所在地：和寒町字北町)



「まちの人にとって暖かい場所になるように」との願いが込められ名付けられた交流施設「ひだまり」は、地域の特性を活かした体験学習や都市と農村の交流活動等の場といった機能を備えた施設です。

体験交流室は野球、ゲートボール、軽スポーツなどに利用でき、ポーチでは農産物や手芸品などの直売所ができるよう整備されています。

また、住民が主体となって運営する新しいタイプの公共施設と位置づけ、施設利用者で組織する運営連絡協議会を設置するなど、住民の運営への参画と協働による賑わいとふれあいのある施設づくりを目指しています。



施設概要	鉄骨造平屋建（一部鉄筋コンクリート造） 建築面積 933.96 m ² 、床面積 827.82 m ² 体験交流室（ダスト舗装）474 m ² 、ミーティングルーム 77.50 m ² 休憩室 100.75 m ² 、ホール・トイレ 116.25 m ² 、ポーチ・物品庫他 駐車場（50台・身障者用1区画）1,620 m ² 、野外作業場 265 m ²
来歴	平成14年完成
利用時間	午前9時～午後10時
利用料	「施設利用料一覧」参照（P40）



農村体験交流滞在施設 エコテージは都市との交流人口拡大や農村生活体験の拠点として、平成 26 年 2 月にオープンしました。再生可能エネルギーとの共生を目指し、太陽光発電システムや地中熱冷暖房を利用した環境にやさしい施設です。

施設内にはテレビ・冷蔵庫・洗濯機・炊飯器など、生活に必要な家具・家電を完備していますので、洗面用具・タオルを持参すれば長期滞在も快適にご利用いただけますので、家族・親戚・友人などで「わっさむ暮らし」をお楽しみください。



寝 室



キッチン



体験・研修スペース

施設概要	木造平屋建 2 棟 (ニレ・カタクリ)
	建 築 面 積 66.47 m ²
	床 面 積 64.44 m ²
	体験・研修スペース 20.16 m ²
	寝室 (和室 2 名) 7.56 m ²
	寝室 (洋室 3 名) 11.88 m ²
再生可能エネルギー設備	
	太陽光発電システム 最大出力 4.16kW
	地中熱ヒートポンプ 冷暖房兼用型
予約・受付	交流施設ひだまり (午前 8 時 30 分～午後 8 時)
	インターネット予約 (24 時間)
チェックイン	午後 3 時から午後 8 時まで
チェックアウト	午前 8 時 45 分から午前 10 時まで
来 歴	平成 26 年 1 月完成、2 月利用開始
利 用 料	「施設利用料一覧」参照 (P43)

ふれあいのもり

(所在地：和寒町字三笠)



地域資源活用交流施設 ふれあいのもりは、四季のイベント（5月：夜桜まつり、7月：どんとこい！わっさむ夏まつり、10月：パンプキンフェスティバル、2月：極寒フェスティバル）の開催や、町民の憩いの広場、農産物や特産品の提供を行うことができるようなイベントの拠点として整備されました。



施設概要	全体面積 16,000 m ² ステージ・管理棟 鉄骨造平屋建 68.25 m ² 公衆便所棟 木造平屋建 59.62 m ² 四阿 木造平屋建 196.83 m ² 2棟 固定式テーブル(0.7m×3.6m)18×2棟 固定式ベンチ(0.3m×1.8m)72×2棟 最大収容人数 576人 倉庫 簡易型ガレージ2連式 33.45 m ²
来歴	平成26年3月完成
利用料	「施設利用料一覧」(P43)

三笠山自然公園

(所在地：和寒町字三笠)



自然環境を活かし、家族連れで楽しめる公園造りに取り組み、桜やナナカマドなどの植樹を行い、今日では約 400 本の桜が見事に生長しています。

秋には紅葉も楽しめ、町花「カタクリ」などの野花も四季を彩り、公園を訪れて自然と親しむことができます。

公園内の「こどもの国」

にはゴーカートコースやハイスクリータワー、豆汽車などの遊具が整備され、その他にキャンプ場、バンガローなどが整備され、町内外から多数の方々が訪れています。



施設概要	管理棟 1 棟 (鉄骨造) ゴーカートコース 548m 豆汽車 1 基 ハイスクリータワー 1 基 スカイダンボ 1 基 フワフワクマさん 1 基 遊歩道 440 m ² 公衆トイレ 2 棟 パークゴルフコース 18 ホール
来歴	昭和 42 年整備開始 平成 13 年パークゴルフコース整備
開園期間	4 月下旬～10 月上旬の毎週土曜・日曜、祝日 (夏休み期間中は毎日)
開園時間	午前 10 時～午後 4 時 30 分

恵水観音像と恵水碑

(所在地：和寒町字三笠)



岩尾内ダムの水を士別市・剣淵町・和寒町・名寄市の水田 (15,800 h a) に利用するため着工した国営天塩川上流地域総合かんがい排水事業完成を記念して、三笠山の小高い頂に「恵水観音像」と「恵水碑」が建立されました。

施設概要	恵水観音像 高さ 7m 恵水碑 高さ 8m・幅 3.4m・厚さ 1mの白御影石 事業説明版 高さ 1.5m・幅 7.2m・厚さ 0.3mの黒御影石
来歴	昭和 42 年着工～61 年完成 昭和 57 年除幕式 (観音像・碑)

南丘森林公園

(所在地：和寒町字南丘)



南丘貯水池を中心に、自然林の群生と素晴らしい景観が四季折々の美しい表情を見せてくれる自然公園です。

南丘貯水池は農水省水源涵養直轄事業により、下流に位置する中和貯水池の補給水源用として竣工した農業用貯水池です。

その後、営林署の「レクリエーションの森」として指定を受け、道営水環境整備事業により整備が行われました。

アウトドアスポーツの拠点としてカヌー、オートキャンプ、釣りや一周約4.2kmの遊歩道（徒歩約2時間）での森林浴を楽しむことができ、自然を満喫しながら家族連れで憩える場として、町内外からの多くの利用客が訪れます。



施設概要

整備面積 17.3ha、遊歩道 4.2km

休憩ゾーン 7.9ha（管理棟・トイレ・パーゴラ（緑廊）・四阿・八橋・水道施設・炊事場・水生植物園・オートキャンプ場他）

緑化ゾーン 3.1ha（四阿・植栽・遊歩道・駐車場 他）

多目的ゾーン（トイレ・せせらぎ水路・四阿・遊歩道・駐車場他）

親水広場 0.6ha（駐車場・自歩道 他）

来歴

昭和26年竣工（農業用貯水池）、昭和54年「レクリエーションの森」指定
平成3年整備開始、平成10年整備完了、平成11年完工式

キャンプ場利用料

オートサイト 1区画 2,000円 フリーサイト 1張 1,000円

塩狩峠記念館（三浦綾子旧宅）

（所在地：和寒町字塩狩）



三浦綾子さんが旭川市豊岡で10年間暮らし、小さな雑貨店を営んでいた旧宅（木造）を移転し復元したものです。

館内は、三浦さんの作品紹介パネル、「氷点」や「塩狩峠」の映画のポスターなどが並び、訪れる方々は、当時の三浦夫妻の様子や人柄に触れることができます。三浦文学の理解をより一層深めてもらい、後世に三浦文学の礎を伝えるため、一階には三浦さんにより寄贈されたソファセットやテーブル、食器棚などが並べられ、生活空間が出来る限り再現されています。二階和室では三浦さんが語り、夫の光世さんが書き取る口述筆記を収録したCDが流れ、来館者は備え付けの原稿用紙に三浦作品の口述筆記が体験できるようになっています。

施設概要	木造 2階建	床面積	50.829 m ²
		旧三浦邸	111.549 m ² 、共有部分 63.262 m ²
		集会所	76.018 m ²
来歴	昭和44年建立	平成11年会館	

長野政雄顕彰碑

（所在地：和寒町字塩狩）



三浦綾子のベストセラー小説「塩狩峠」の主人公「永野信夫」のモデルとなった「長野政雄」の殉職顕彰碑で、勤勉で責任感の強い国鉄職員であった長野氏の魂を後世に伝えるため、旭川鉄道管理局・国鉄OB会・旭川六条教会・和寒町が中心となり塩狩駅構内に建立されたものです。

長野政雄について「塩狩峠より」

明治42年2月名寄から出張帰りの国鉄旭川運輸事務所庶務主任「長野政雄」の乗った汽車が塩狩峠に差し掛かったところ、連結器が外れて客車1両が後方へ暴走した。

乗客の1人であった長野は車内の客をなだめて、デッキに出て手動ブレーキを操作していたが、凍った床と振動のため線路上に転落（小説では故意に飛び降り）若い肉体は車輪の下になって客車は止まった。

めおといわ
夫婦岩

(所在地：和寒町字塩狩)



南丘の小高い山にある夫婦岩は明治 36 年（1903 年）に発見され、大正 6 年に相馬妙見神社の分霊を祀り、昭和初期まで祭祀が行われていました。

10mほどの「男岩」と「女岩」、それと小さな「子岩」と呼ばれる大小 3 つの岩が立ち並び、いずれも板を積み重ねたような形状をしています。

自然が生み出したこの不思議な岩の形は、遙か昔約 1,300 万年前に起きた火山活動とその後の永い年月をかけた侵食によるものだと言われています。

施設概要 場所 市街地から南西に約 7 km 標高 333m
町道夫婦岩線より徒歩 20 分

ひとめ
塩狩峠一目千本桜

(所在地：和寒町字塩狩)



鉄道沿線をサクラトンネルにしようとエゾヤマ桜の植樹が計画されたことから始まり、その後も継続的な植樹により整備されてきました。「天塩の国」と「石狩の国」の国境にあることから名付けられた「塩狩峠」は、かつて「交通の難所」と言われましたが、今では桜の名所として生まれ変わり、「塩狩峠一目千本桜」は和

寒町の代表的な観光名所の一つとなりました。

五月晴れのもと、約 1,600 本のエゾヤマ桜が一面を覆い咲き誇る光景はとても美しく、訪れる方々の心が癒されます。

施設概要 場所 JR 塩狩駅周辺
塩狩峠記念館から徒歩 5 分

和寒町農林業定住促進施設

(所在地：和寒町字松岡)



和寒町の農林業の活性化を図るため、農林業経営に従事することを目的として定住しようとする者が、一定期間、生活の拠点として滞在するための施設です。



施設概要	コンクリートブロック造平屋建 1棟3戸 建築面積 115.2㎡ 床面積 115.2㎡ 間取り 1LDK
来歴	平成25年10月完成
利用条件	①国等の基準による農林業の実践的研修を行おうとする者（45歳未満） ②農林業の業務に雇用され従事している者（45歳未満） ※①の方々が優先となりますが、空き戸数がある場合は②の方々にもご利用いただけます。
利用期間	許可した日から1年以内の更新制とし、最大3年以内
使用料	月額10,000円
その他条件	保証金要（2月分前納）／連帯保証人要（2名）／その他



農業活性化センター 農想塾は、和寒町農業の振興と近代化農業の推進のため、農業技術の拠点施設として位置づけし、最新技術の導入、種苗や作物の適応試験圃、農業情報システム、研修・研究の場として設置されました。農業後継者を3年間研修員として受入れするなど、就農研修の場にもなっています。

また、各種試験圃の設置による主要作目の試験成績や、土壌分析による営農支援、情報室からは、気象、作況、病害虫の発生動向などの情報発信を行っています。

施設概要	管理棟木造2階建	544.32 m ²
	作業管理棟	155.42 m ²
	アクリル温室	86.40 m ²
	堆肥盤	150.00 m ²
	試験ほ場	13,500.00 m ² (三笠除く)
	運営主体	和寒町・JA北ひびき
事業内容	営農技術情報の提供	
	農業者の育成、指導を図るための研修制度	
	土壌分析や食味分析機器を活用した営農情報	
来歴	平成8年完成	
	利用時間	午前9時～午後9時

農産加工センター

(所在地：和寒町字北町)



自給食糧の高度な利用による食生活の改善、生産物の有効利用、附加価値を高めるために建設された農産物加工施設です。生産者によるトマトジュース、味噌、ジャムの加工などに利用されています。また、農家のお母さん達の団体「和寒町女性ネットワーク」による五目御飯の五目の具や、農産物を利用した自家用加工などにも活用されています。平成22年度には、マイナス30℃で食糧を保存できる冷凍保管庫が完成し、多くの方々に利用されています。

施設概要	鉄骨造平屋建 共同作業所 250 m ² (建設当初 160 m ² 増築 90 m ²) 資材倉庫 141 m ² 冷凍保管庫 36.73 m ³
来歴	昭和58年 開設 平成元年 90 m ² 増築 平成22年 冷凍保管庫設置 平成24年 トイレ増築 4.05 m ²
利用料	

区分	単 位 等	単 価
ジュース	1 1.5ℓ瓶 1本	82 円
味噌	1kg (製品)	20 円
パック詰め	100g	5 円
ジャム	100g	10 円
センター使用	1 時間	100 円
餅	1 時間	200 円
惣菜等	1 時間	300 円
カボチャペースト	1 時間	500 円
冷凍保管庫	コンテナ(小) / 月	100 円
	コンテナ(大) / 月	200 円